

# 菊陵だより

## <学校教育目標>

自分の良さや可能性を伸ばし、グローバル  
社会の中で夢に向かって、心豊かに  
たくましく生きる生徒の育成

学校だより 6号

令和元年5月23日(木) 校長 田中 秀昌

### ◆ふれあい合宿

1年生が、『仲間と協力し、楽しく、絆を深めよう』を目標に5月20日(月)に『もじ少年自然の家』にふれあい合宿に行ってきました。すばらしい絆を深めることができたでしょうか。

なお、今年のふれあい合宿は宿泊はしないで日帰りを実施いたしました。

学校とは環境の違う大自然の中で、『校歌コンクール』『フィールドビンゴ』『大縄飛び大会』などの活動を行い、お互いの交流そして絆を深めてきました。途中から雨が降り少し残念でした。



もじ少年自然の家に着いたとき、きれいな海や山が心を躍らせてくれました。入所式後、フィールドビンゴ!潮の香りと海の音、班員との仲も上手くいき始めた矢先、雨が降り始めました。急いで雨具を着ていたとき、自分のことで手一杯の中、人のことまで気を配っているクラスメイトを見て、すごいなと本当に思いました。そして人の良いところを見て自分もうれしくなりました。その後も校歌コンクールや大縄飛び大会など優勝はできなかったけど全力で取り組んだ後の心地よさを知りました。私たちの新たな成長を支えてくださった、先生方・所の方々へ改めて感謝しています。私にとってはとても価値あるふれあい合宿になりました。

ふれあい合宿を通して、失敗を責めるのではなく、励まし合い、皆で協力して次の行動をするということを学びました。そして、一人一人の良さを見つけることもできました。人の優しさや思いやりなど多くの良いところを見ることができました。もちろん自然の雄大さ美しさ素晴らしさが学校では学べない多くのものを学ばせてくれたのだと思います。本当に心が温かくなりました。最後に、今回のふれあい合宿に満足はしていますが、やっぱり泊まりが良かったです。今回の経験を、口先だけでなく学校生活でも生かせるように私たちも頑張らないといけないと思いました。

私は中学校生活はじめての行事「ふれあい合宿」で、まわりの人と協力すること、集団行動の知識を深めることを学ぼうと思っていました。学校での出発式では、落ち着きがなくおしゃべりや自分勝手な行動をとっていました。入所式のあいさつもきちんとできていませんでした。その後の集団行動やフィールドビンゴなどの取組を行う中で、何が変わったのかわかりませんが、何か変わってきました。小学校とは何かが変わったふれあい合宿でした。間違えなく絆を深めることができ、今後何かにつまずいたとき、立ち直ることができるくらい成長できたと思います。

生徒感想文より



校門を入ってすぐ左に記念碑と掲示黒板があります。掲示板には毎月、美術部がその月のイメージに合った作品を掲示してくれています。4月は「さくら」、5月は新元号の「令和」でした。さて、6月は何でしょうね。楽しみにしています。また、現在の小倉商業高等学校の校舎跡の記念碑もあります。

